

「岩手の住宅復興を考える」講演会を開催しました ～地域の家づくりから地域の復興へ～

建築住宅課

東日本大震災津波からの住宅の復興における課題を考えるため、8月29日盛岡市内で講演会を開催し、住宅事業者を中心に約80の方が聴講しました。



第1部では県土整備部勝又住宅課長より、「住宅建築行政の動向」と題して、災害公営住宅・持ち家住宅の新規取得や補修・民間等の賃貸住宅、それぞれにおける施策や支援制度全般について説明を行いました。



第2部は日本建築士会連合会会長・アルセッド建築研究所代表・芝浦工業大学名誉教授である三井所^{みいしよきよりの}清典氏から、「復興住宅のつくり方～地域の家づくりの生業の保全～」と題してご講演いただきました。

三井所氏は、ご自身が関わられた先の新潟県中越地震・山古志における事例を紹介しながら、住宅の再建を担う地場の工務店同士が、行政の手助けを得つつ連携することの必要性や、地元^{なりのわい}に根差した「それぞれの方言のような」住まいをつくるのが地域の生業を保つことだと説いていました。

